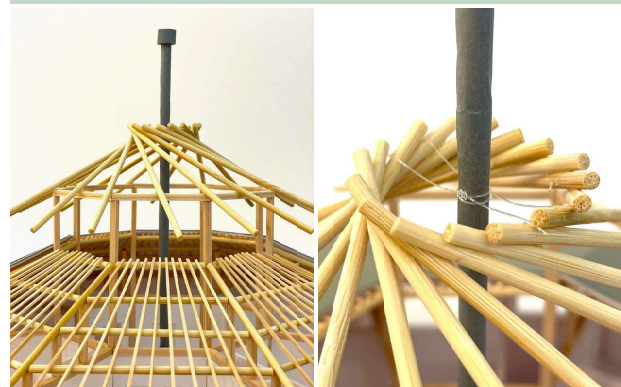


<設計コンセプト>
 テーマの「家族の成長と共に長い間暮らすことができる家」とする為、古くから京都の家づくりで重視される家相に配慮した正八角の木造軸組構造の間取りを計画しました。
 八角形「八卦」は、古来より風水や家相学において特別な意味を持つ形状の一つであり、八方位は全ての方角から幸せを引き寄せ、邪気を払ってくれるものと考えられています。
 また「8」という数字は、末広りの数字で縁起が良いと伝えられています。
 家相によって守られたこの家は、家族が健康に、安全に、幸せに暮らしていける最強の生活が約束されます。
 この建築のシンボルであるファイヤビット(暖炉)を建物中心に据えた、ファイヤビットを囲む形のリビング空間を構成。
 寒い冬には火を囲むが、季節にかかわらずシンボルの下には家族が集い、会話が弾む。
 建物の形に則り、八方位に生活スペースを配置。
 中心から家族の気配を感じる事が出来ると同時に、建物中心から各居室へアクセスできる動線とし、プライベート空間を確保した。

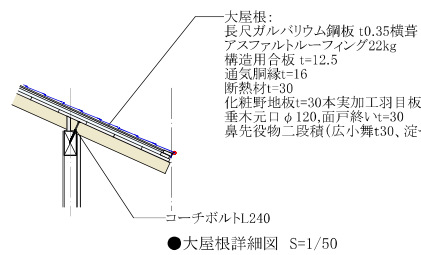
8 Reciprocal roof house

～八角形の相互構造屋根のいえ～

第7回Woodyコンテスト 木造住宅部門



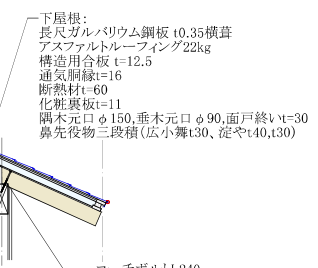
●大屋根は、レシプロカル構造(相互構造)とし、桁及び丸太同士をボルトにて繋結する。



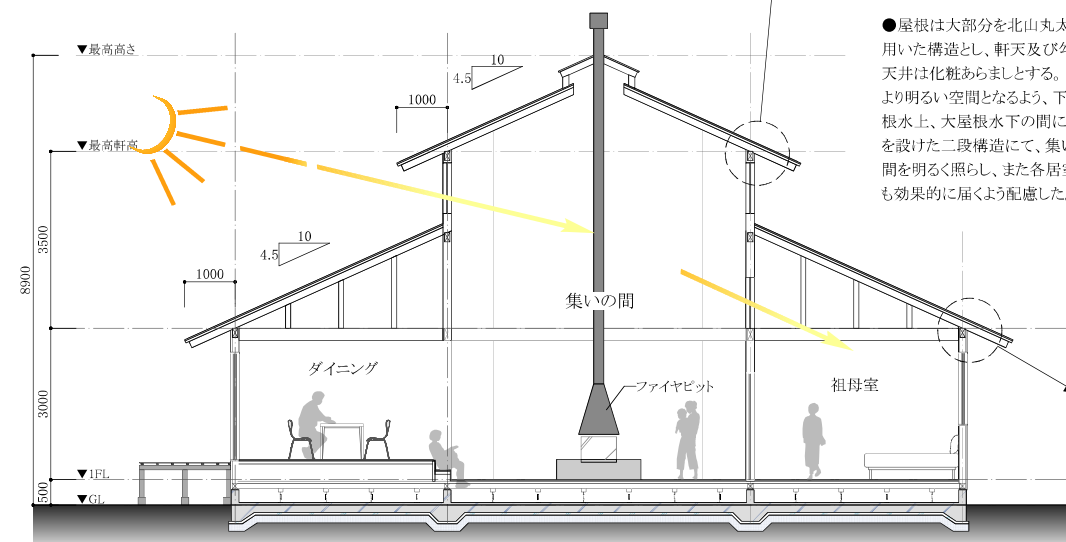
大屋根:
 長尺ガルバリウム鋼板 t0.35横葺
 アスファルトルーフィング22kg
 構造用合板 t=12.5
 通気胴縁t=16
 断熱材t=30
 化粧野地板=30本実加工羽目板仕様
 垂木元口φ120,面戸終いφ30
 鼻先役物二段積(広小舞t30, 淀やt30)



●下屋根は、八本の丸太隅木と八面の扇垂木にて数寄屋普請の装いとす。



下屋根:
 長尺ガルバリウム鋼板 t0.35横葺
 アスファルトルーフィング22kg
 構造用合板 t=12.5
 通気胴縁t=16
 断熱材t=60
 化粧裏板t=11
 隅木元口φ150,垂木元口φ90,面戸終いφ30
 隅木元口φ150,垂木元口φ90,面戸終いφ30
 鼻先役物二段積(広小舞t30, 淀やt40,t30)



●屋根は大部分を北山丸太を用いた構造とし、軒天及び勾配天井は化粧あらましとする。
 より明るい空間となるよう、下屋根水上、大屋根水下の間に窓を設けた二段構造にて、集いの間を明るく照らし、また各居室にも効果的に届くよう配慮した。



《計画概要》
 敷地面積:587.96㎡
 建築面積:146.62㎡
 延床面積:146.62㎡
 階数:地上1階建て
 最高高さ:8.90m

